財政改革

公会計改革の使命とは何か

住民にお知らせし、規律の強化を図ること

松葉幸雄 議員

質問 公会計改革が本格的に動き出してから4年。自治体は情報開示のため、今大きく変わろうとしている。当町でも平成22年度から財務4表を公表し、全体の財務状況をあらわすことになった。公会計改革と情報開示を車の両輪と位置づけ、地方自治の一層の充実を図っていくことが今後の大きなポイントと思われる。公会計を通じての住民への使命とは何か、町の考えをお聞かせいただきたい。

答弁 政策推進課長 公会計制度改革は「住民自治」の原則のもと、財政状況を住民にお知らせし、規律の強化を図っていくためにあると考えます。情報公開は分かりやすいものを心がけ、自治体の資産、債務の実態把握、状況の総点検など、住民によるチェック機能を充実させ、住民皆さんに幅広く理解していただけるよう一層心がけてまいります。

質問 情報公開は導入したものの、経営の中身は昔のまま、基本動作を超える改革が必要では。

答弁 町長 行政を取り巻く情勢は年々厳しくなっており、職員のレベルアップも一つの改革の始まりと考え、また公会計に対する認識を全職員で共有し、意識改革を進めることも大変重要だと思っています。

太陽光発電

再生可能エネルギー推進策は

一般家庭の導入支援は、考えざるを得ない

柳田多恵子 議員

質問 脱原発の流れをどう受けとめているか。

答弁 町長 事故を教訓に、エネルギー政策の見直しは当然のことと理解はします。安全性を重視しながら安定供給とCO2の問題、コストや発電能力などさまざまな観点から十分な検討をしながら選択していくべきと考えます。

質問 再生可能エネルギーの活用は、今後、地域の第一次産業に位置づけられるのではないか。担当課をつくり対応することや、再生可能エネルギー推進条例や基本計画を作成するなど、協議の場を広げることは考えているか。

答弁 町長 今の時点では考えていませんが、資料を取り寄せたり、検討するなど、工夫はしたいと考えています。新しくつくる公共施設への太陽光パネル設置や親水公園内水車小屋に小水力発電を導入する予定です。また、太陽光発電の一般家庭の導入支援は、考えざるを得ません。

代々木公園での集会

給食の放射線量測定器の購入を

質問 ①学校・保育園での空間測定の回数が減っている。元に戻すことは

②現在使用している県の給食測定器では、限界値（下限値）が27ベクレル以上となる食材もある。品質の高い機器の独自購入は。

答弁 学校教育課長 ①新しい測定範囲で進め、大きな変化が見られれば考えます ②機械の性能や食材の密度で幅が出てきます。他の自治体での検査や情報などを参考に、このままで検査は進めていきます。

七夕まつりの課題

七夕まつりの竹飾り減少の実態は

昨年より29本減少

山口勝士 議員

質問 議会による七夕まつりでの竹飾り、そこでの交流は有意義なものとなった。そこで見えた課題について ①竹飾り減少の実態は ②市街地の高齢化・少子化で、全町民が参加できる企画など、住民参加型の発想が大事では。

答弁 産業観光課長 ①平成20年1441本を最高に減少、ことしは112本と29本減少 ②実行委員会での反省・総括がなされ、来年65回への取り組み、方向性が協議されます。

議会による竹飾りの前で

西中学校改築に議会の意見は反映されているのか

質問 西中学校の改築に当たって、議会では最大限の木質化、地元業者の活用、避難所としての機能の充実が求められた。現在どう生かされているのか。

答弁 学校教育課長 教室や廊下の床、腰壁、廊下側間仕切り、体育館内壁など、町産材が対応できるかどうかも含め検討中です。地元業者の参加に当たっては、入札方法を工夫しても参加業者は限定され、多くの業者参加は困難です。地元業者育成の点から参加の機会をいただけるよう努めます。避難所の機能充実としては、小型発電機の接続、一部太陽光発電利用、受水槽からの直接給水、仮設トイレ設置の想定などを計画していきます。